



# PTAだより

「号外①」 令和元年9月発行  
香川県立香川東部養護学校



## 全国特別支援学校知的障害教育校 PTA 連合会 全国研究協議会（栃木大会）報告

全国から792名の参加者が宇都宮市の会場に集まり研究協議会が行われました。本校からは岡本役員・白井役員、高等部 木村教諭の3名が参加しました。大会1日目は、文部科学省、厚生労働省からの行政説明の後、栃木県で実践的な防災教育に取り組んできた気象庁の永田氏による「障害のある子どもたちの『生きる力』を高める実践的な防災教育」～全国の特別支援学校・家庭に向けて発信したいこと～と題した貴重なお話へと続きました。災害は子どもたちが学校にいる以外の時間帯で多く発生していることもあり、自らの命を守り抜く力をつけることを目的とした短時間で繰り返し行える「緊急地震速報を活用した防災教育」の取り組みは大変興味深いものでした。



全体会、講演会が行われた  
「栃木県教育会館」



音に敏感な児童たちも「緊急地震速報」を聞くと自分から机の下に潜れるようになります。

### <第2分科会>共に学ぶ生涯学習活動 ～社会全体で子供たちを育む～ に参加して

PTA役員 白井 明子

北海道余市養護学校からは「子どもの成長を支え続ける 縦のつながりと横のつながり」のテーマで発表がありました。障害児を育てるにあたって、家族だけでは体力的にも精神的にも限界がある。そこで精神的な支えを得るために、孤立しないで多方面とのつながりが大事とのことでした。PTA会長の息子さん（重度自閉症）の事例を元に、①小さい頃から地域とのつながりをもっておくことで、ピンチの時に地域の方が優しく手を差し伸べてくれること、②卒業生の保護者とのランチ会や在校生の保護者との悩み別座談会の開催で、同じ悩みを持つ者同士、笑い話にして活力を得られること、をあげていました。このような縦と横のつながりが網のようになり、子供達の社会参加や活動の幅を広げているとのことでした。

宮崎県立児湯るびなす支援学校からは「子どもと支援者が共に成長する動作学習支援の輪」のテーマで発表がありました。スポーツインストラクターの堀美和子先生による個別指導と全体研修会を通じて、支援者の成長、連携、広がりを深めたそうです。全体研修会は、児湯るびなす支援学校だけでなく、宮崎県内すべての支援学校の保護者・先生・地域の福祉事業所を対象としており、宮崎県として一体感が醸成されたそうです。研修が終わっても、県内の支援学校の保護者を中心に「スマイリーズ」という自主グループを作り、堀先生からの指導を定期的に受講しているそうで、つながりの素晴らしさを感じました。



東京駅から新幹線  
1時間20分で宇都宮駅へ



2つの発表とも、大事なものは「つながり」であり、卒業後も途切れない関係作りが、子供達の生活を豊かにしていくのだと改めて感じました。

